

市議会議員
かけのまち子
電話/Fax 53-7727
kakenom@xj.commuja.jp



市議会議員
みわ 陽子
電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.co.jp



No.567 2025.2.6
日本共産党江南市委員会

あすの江南

元市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
元市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

日本共産党江南市議員団 HP 検索

*困り事は早めにお気軽にご相談ください

新春のつどいで参議院選スタート 比例5人とすやま初美さんを国会へ

2月2日、日本共産党江南市連合後援会主催で新春のつどいを開催しました。

すやま初美さんは、衆院選で自公を過半数割れに追い込みワクワクする状況が生まれており、今国会での7つの政策の実現の可能性を語りました。

①学校給食の無償化 ②紙の保険証の継続 ③高額医療費限度額引き上げストップ ④介護基盤を取り戻す ⑤教員増 ⑥消費税の減税 ⑦学費値上げストップ

8.7兆円の軍事費予算を減らし大企業に応分の税負担を求める、大企業の内部留保に課税するなど日本共産党は財源とセットで政策を打ち出せる。その理由はアメリカ言いなり、財界言いなりにしっかりメスが入れるから。財源も示すことができるのは日本共産党だけ。愛知県は男女の賃金格差が全国で最も大きい。愛知からジェンダーの壁を破るため、何としても国会に駆け上がる決意。



沖縄からの報告と三線演奏

沖縄で座り込みなどに参加している山下律子さんは、沖縄県民が反対の意思を何度も示しているにもかかわらず政府は莫大な予算を使って強引に辺野古の基地建設を進めている様子を訴えました。新井英文さんとのデュオ・ネーニーズの「ウチナーUchina」「島人ぬ宝」の演奏で手拍子と歌声が響きました。

日本共産党市議団も簡単に市政報告を行いました。

「皆で公共交通を育むまち」各務原市を視察



1月23日、市議会建設産業委員会で各務原市の公共交通を視察しました。

各務原市は、「地域住民、交通事業者、行政の三位一体の体制で公共交通ネットワークを再構築し、地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだことが評価され、2023年度に優良団体として大臣表彰を受けています。受賞にふさわしく、しっかりと予算を確保し、地域住民や交通事業者とのくりかえしの懇談で意思疎通をはかり、現状を把握し、要望に応えられるよう絶えず改善を繰り返していました。

市内16の鉄道駅と、路線バス8路線、ふれあいバス（コミュニティバス）7路線、3周辺エリアのデマンド交通チョイソコなど、鉄道を軸に多様なサービスで公共交通網を形成。それらを乗り継ぎ拠点で接続させていました。特に居住誘導区域では、便数をふやし1時間に1本のパターンダイヤに改善。2023年度は前年度比9.5%の利用者増を果たしていました。

公共交通関係予算（市実質負担額）は、標準財政規模比で江南市の約1.6倍を確保。ふれあいバス（1乗車100円）とチョイソコ（1乗車400円または600円、高齢者・障害者・小学生は半額）の1乗車あたりの市の運行負担額は749円、収支率は10.7%、ふれあいバス1便あたり乗車人数12人～4.5人（平均7～8人）は、良い成績です。しかしデマンド交通チョイソコは、経費に比べて乗客数が少なく効率が悪いのは否めません。

注目は職員体制です。公共交通専門係が3人体制で、毎年市内12か所の地域に出向いて住民懇談会を行い、地域の声に耳を傾けて公共交通の改善につなげていました。

江南は新年度から地域公共交通計画を策定

江南市は北部地域で新たな公共交通の導入を検討中。1年間前倒して2025年度から、地域公共交通計画を策定する予定です。今後の江南市の公共交通の在り方について、住民参加で真剣に議論する必要があります。

*各務原市のデータ 人口14万4千人、面積87.81km²
財政力指数0.85（2023年度）